

中山間地域等直接支払制度の最終評価

－参考資料－

平成26年7月24日

農林水産省

中山間地域農業をめぐる情勢

中山間地域の概要

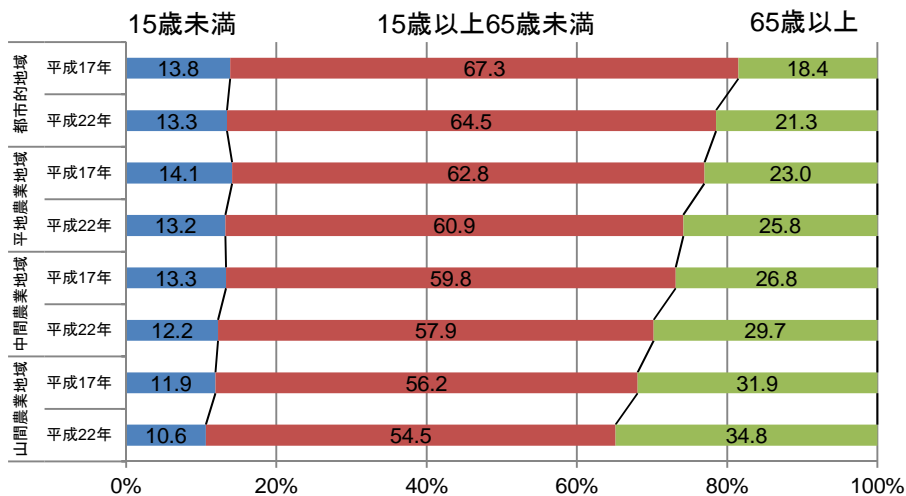
○ 我が国主要指標に占める中山間地域の割合(平成22年)

区分	単位	全国 (A)	中山間地域 (B)	割合(%) (B/A)
①国土面積	千ha	37,171	27,141	73.0
②耕地面積	千ha	4,593	1,846 ※(推計値)	40.2 ※(推計値)
③林野面積	千ha	24,844	21,633	87.1
④総農家数	千戸	2,528	1,101	43.6
⑤販売農家数	千戸	1,631	685	42.0
⑥農業生産額	億円	82,551	28,864 ※(推計値)	35.0 ※(推計値)

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス」(組替) (①、③、④、⑤)
農林水産省「耕地及び作付面積統計」(②の全国地)
農林水産省「生産農業所得統計」(⑥の全国地)

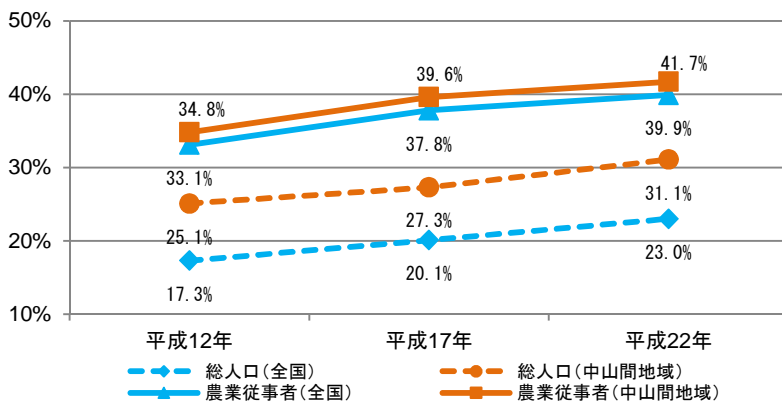
注1：農業地域類型区分は、平成20年6月改定のものを使用。
注2：「①国土面積」の値は、新旧市区町村別個票データから集計を行ったため、確定値及び「2010年世界農林業センサス報告書(第1巻、第7巻)」の都道府県計とは一致しない。

○ 人口割合の推移



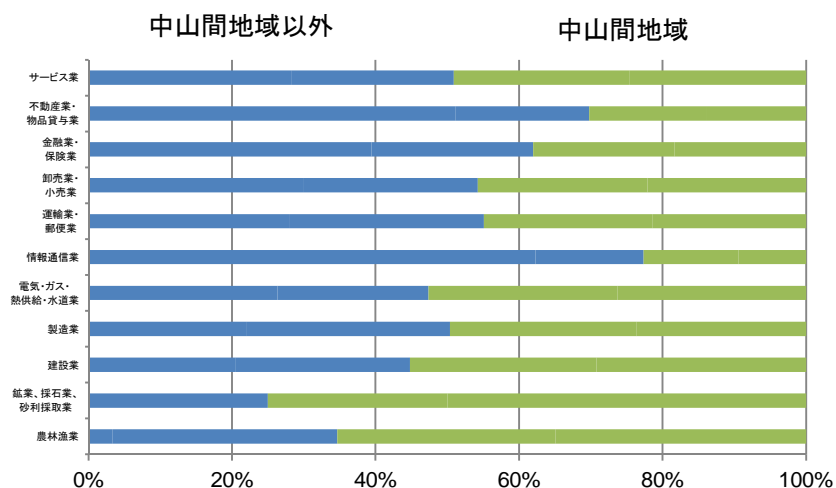
資料：総務省「国勢調査」を基に農林水産省で作成。
注：年齢不詳があるため、合計が100%に満たない場合がある。

○ 高齢化率の推移



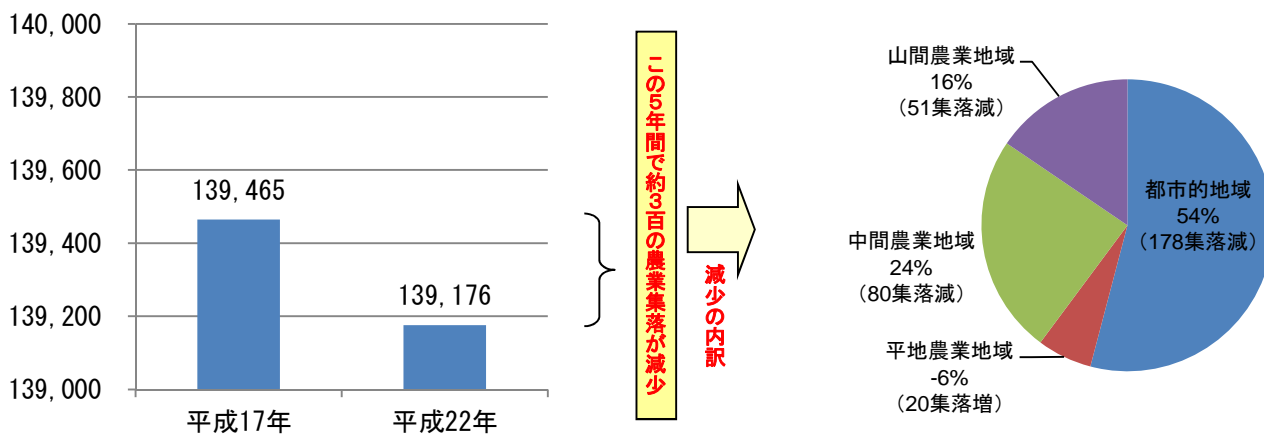
資料：総務省「国勢調査」
注1：高齢化率は、65歳以上の割合。
注2：平成22年の中山間地域の高齢化率は、農林水産省農村振興局中山間地域振興課が推計。
注3：農業従事者の高齢化率は、農林水産省農村振興局中山間地域振興課調べ

○ 主要産業別の中山間地域のウェイト



資料：総務省「平成22年度国勢調査」を基に農林水産省で作成。
注：分類不能の産業はサービス業に含む。

○ 農業集落数の推移



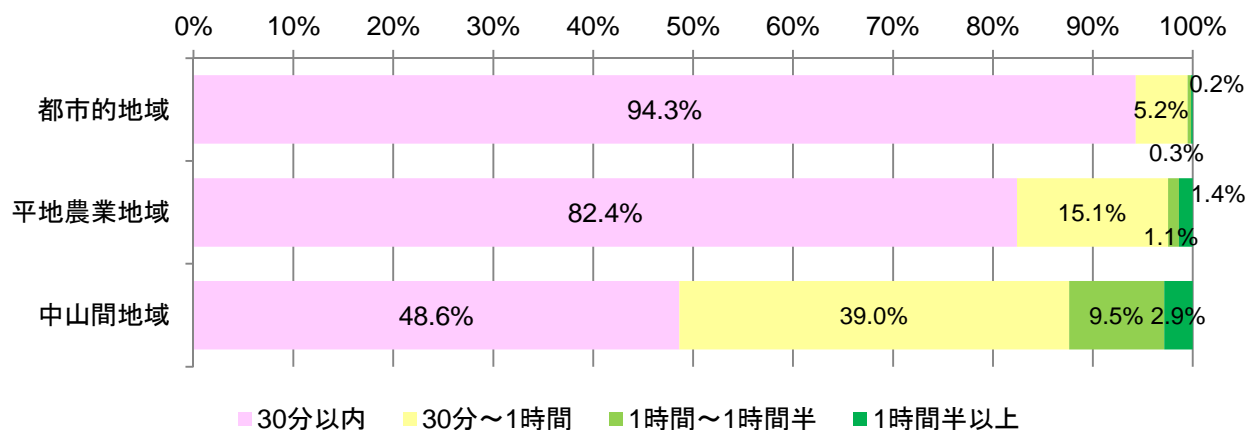
資料：農林水産省「世界農林業センサス」における農業集落調査を基に作成。

○ 1集落当たりの平均(平成22年)

	総農家数 (戸)	総土地面積 (ha)	耕地面積 (ha)
都市的地域	18	122	21
平地農業地域	22	153	57
中間農業地域	17	255	29
山間農業地域	13	579	19
全国	18	260	32

資料：農林水産省「2010年農林業センサス」（組替集計）
注：農業地域類型区分は、平成20年6月改定のものを使用。

○ DID(人口集中地区)までの所要時間別農業集落数の割合

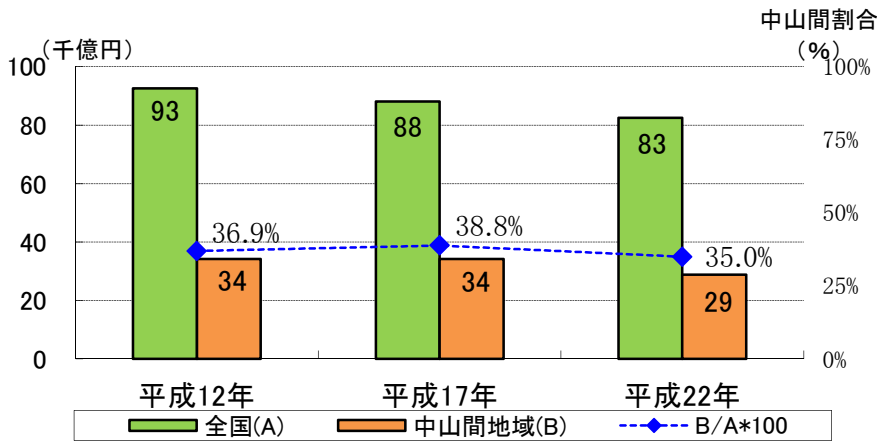


資料：農林水産省「2010年農林業センサス」

注：「D I D」とは、「Densely Inhabited District」の略。人口集中地区のことで、市区町村の人口密度の高い基本単位区（約4,000人/km²以上）が連たんして、その人口が5,000人以上となる地区。国勢調査による。

中山間地域農業の現状

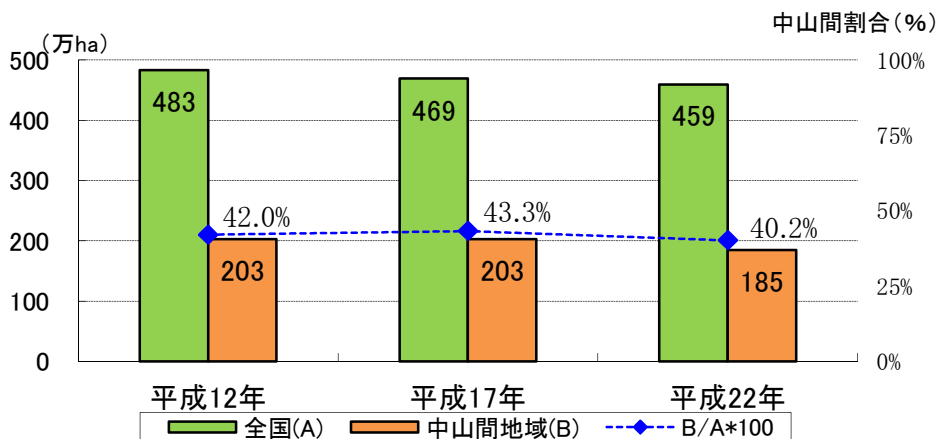
○ 農業総産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

注：全国の産出額について、平成12年及び17年は「市町村別推計値」で、平成22年は「都道府県別推計値」。また、平成22年の中山間地域の産出額は、農林水産省農村振興局中山間地域振興課が推計。

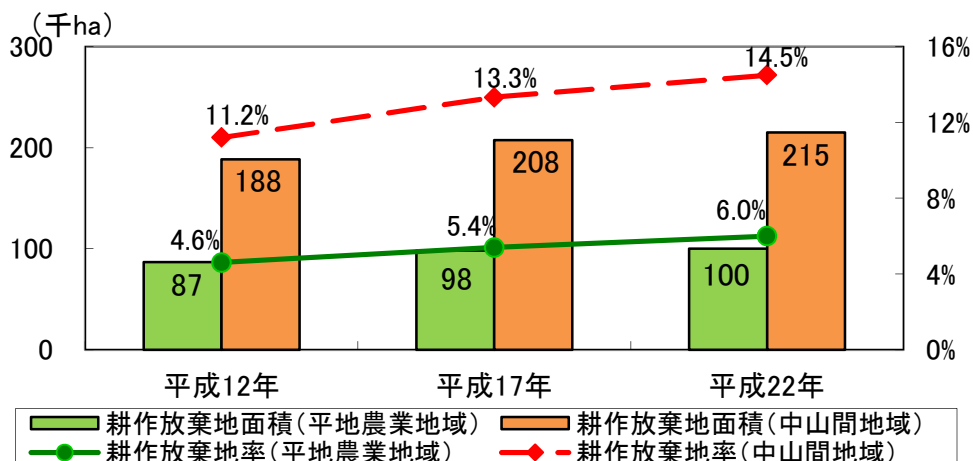
○ 耕地面積の推移



資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

注：平成22年の中山間地域の耕地面積は、農林水産省農村振興局中山間地域振興課が推計。

○ 耕作放棄地率の推移

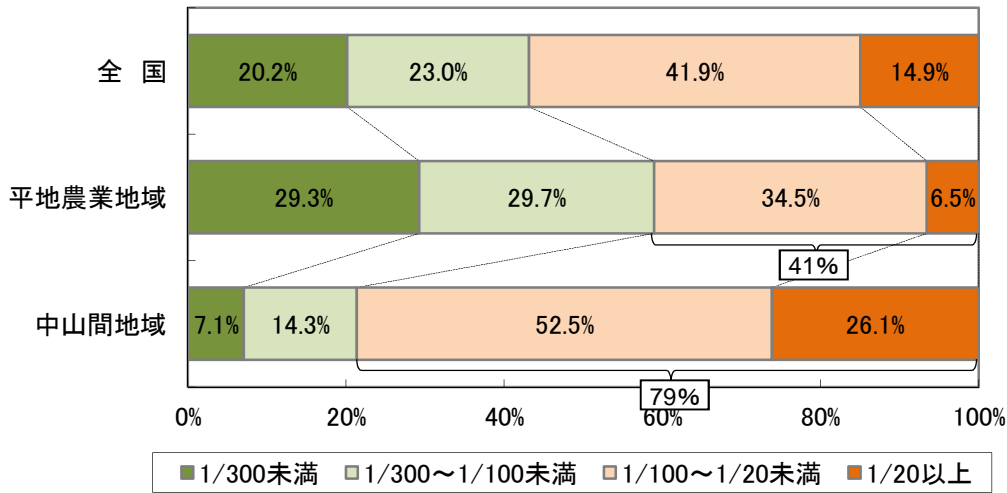


資料：農林水産省「農林業センサス」（総農家、土地持ち非農家）

注1：耕作放棄地率＝耕作放棄地面積／（経営耕地面積＋耕作放棄地面積）×100

注2：平成22年の農業地域類型区分は、平成20年6月改定のものを使用。

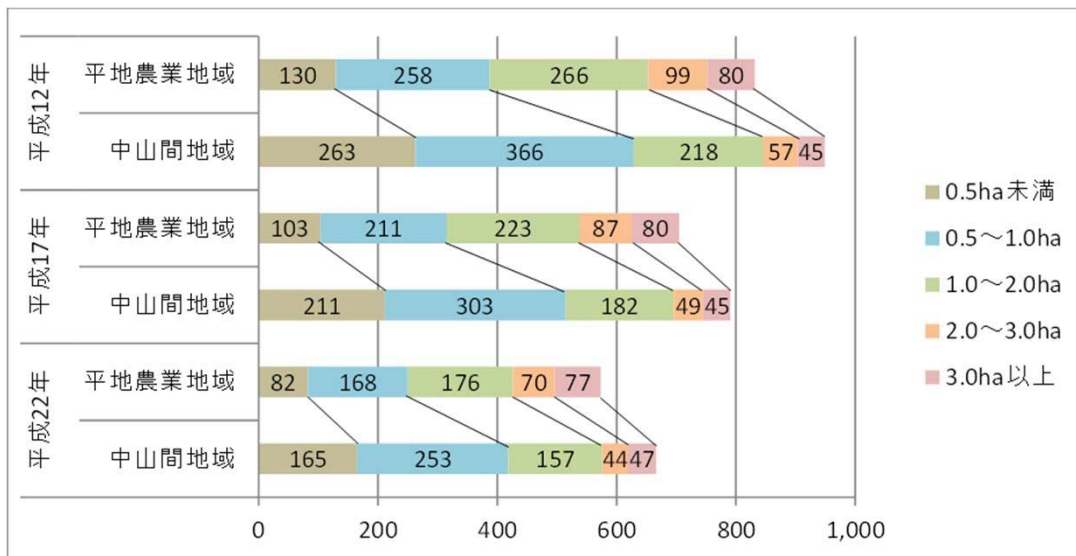
○ 傾斜区分別の田面積割合



資料：農林水産省「第4次土地利用基盤整備基本調査（H13.3.31時点）」（組替集計）

○ 経営耕地面積規模別農家数

単位：千戸

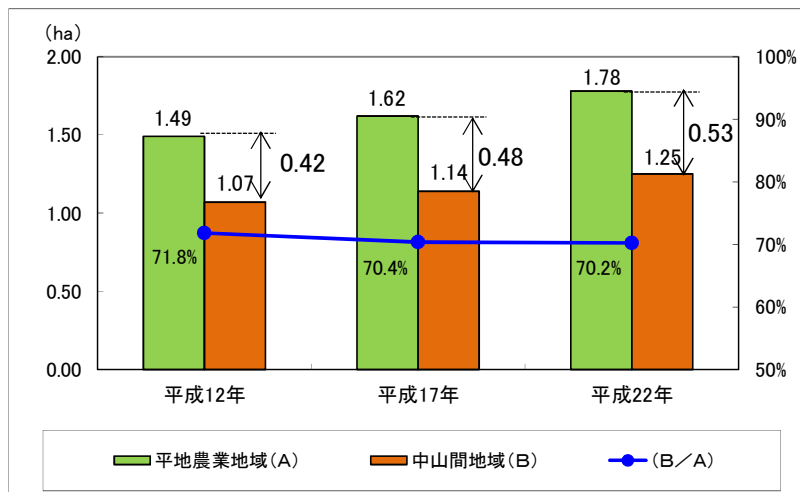


資料：農林水産省「(世界)農林業センサス」(組替)(都府県・販売農家)

注1：パーセンテージは、販売農家数に占める経営規模が1.0ha未満の農家数の割合。

注2：農業地域類型区分は、平成12年は平成13年11月改定のもの、平成17年及び平成22年は平成20年6月改定のものを使用。

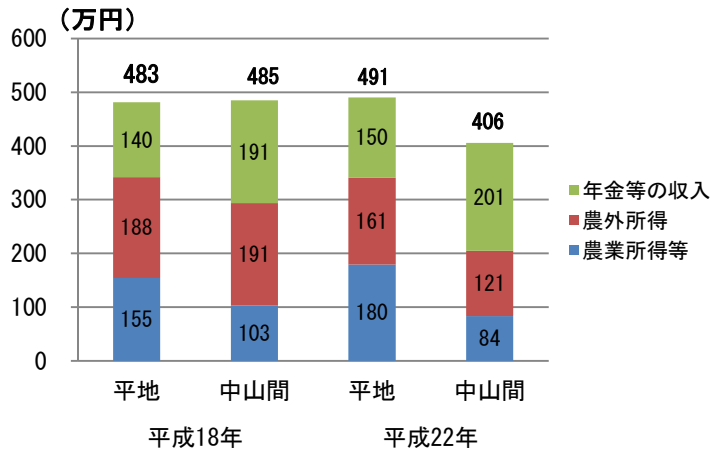
○ 1戸当たり経営耕地面積



資料：農林水産省「(世界)農林業センサス」(組替)(都府県・販売農家)

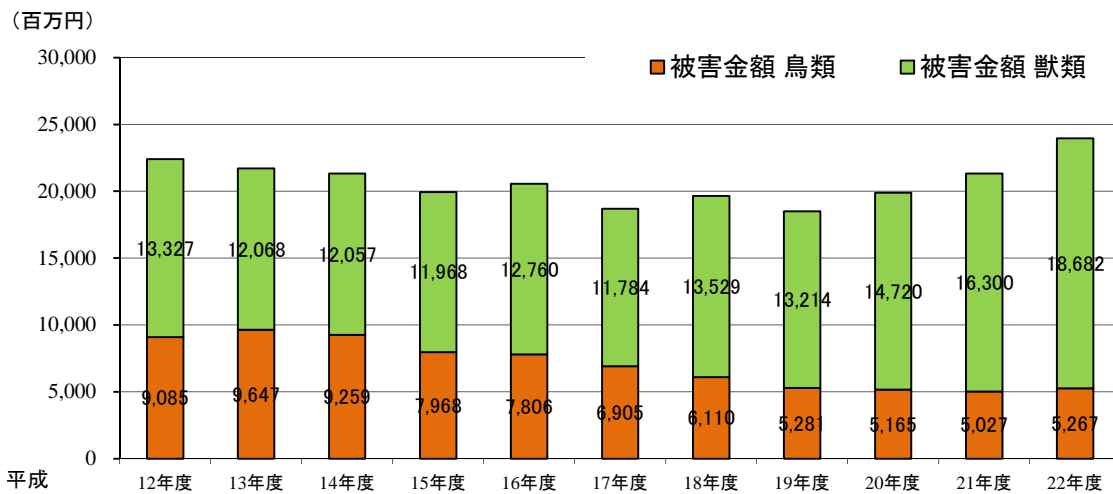
注：農業地域類型区分は、平成12年は平成13年11月改定のもの、平成17年及び平成22年は平成20年6月改定のものを使用。

○ 1農業経営体当たり所得内訳



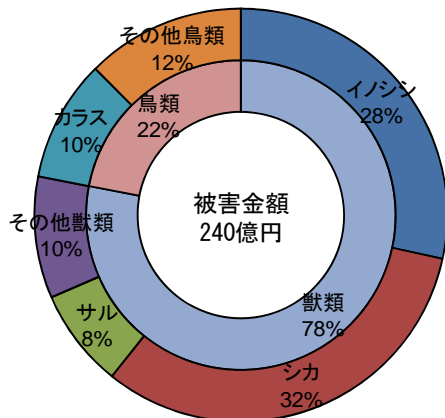
資料：農林水産省「農業経営統計調査 経営形態別経営統計（個別経営）」
注：農業所得等は、農業所得と農業生産関連事業所得の計。

○ 鳥獣害による農作物の被害金額の推移



資料：農林水産省調べ（全国値）
注：鳥類とは、スズメ、カラス、カモ、ムクドリ、ヒヨドリ、ハト、キジ、サギ等のこと。
また、獣類とは、ネズミ、ウサギ、クマ、イノシシ、モグラ、サル、シカ、カモシカ、タヌキ等のこと。

○ 農作物被害金額に占める野生鳥獣別の割合（平成22年）



資料：農林水産省調べ